

救急科開設

救命救急専門医を迎えるにあたって 院長 小熊 豊

四月から下嶋秀和先生と方波見謙二先生が救急科専門医として新たに赴任され、麻酔科医師が六名に増員されます。従来当院では、麻酔科を中心に全科が専門性を発揮して救命救急医療を実践して参りました。今回、経験豊かな三人の救命救急担当医が増員することで、地域の高度救命救急体制が飛躍的に発展することになります。

十月開院の新病院では、ICU(集中治療室)六床、HCU(重症治療室)二〇床を設置し、あらゆる重症疾患に対応可能となります。屋上にはヘリポートが置かれ、患者さんの迅速な移送に用いられます。最新の医療機器の導入とともに、三人の専門医の加入は、崩壊が危惧される他地域の救急医療と違い、盤石なものへと変貌します。この場を借りて、北大侵襲制御医学講座救急医学分野 丸藤 哲



麻酔科 医師 ひでひこ 雨森 英彦
あめのもり ひでひこ

当院救急外来にくる患者さんは年間六、八四〇人(救急車九〇二人)です。周辺地域の医療崩壊や受け入れ困難にもない、最近では、中空知だけでなく遠方の富良野、芦別、留萌などからの重症患者も増加し続けています。昨年までは麻酔科中心に重症の救急患者に対応し

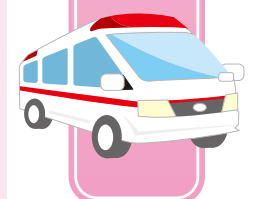
てきましたが、マンパワー不足のためスタッフが疲弊してきました。今回、新病院にむけて救急医が二名、麻酔科医六人と増員となり、より充実したものになりました。また救急外来での研修医の教育にも力を入れていこうと思います。



救急科 医師 ひでかず 下嶋 秀和
しむじま ひでかず

二〇二〇年四月より砂川私立病院に新たに救急科を立ち上げさせていただきました。現在二名の救急医が在籍し、各専門診療科と連携し診療に当たっています。

中空知の地域の特性や歴史をふまえ、プライマリケアから高度救命医療まで幅広く対応させていたき、地域の救急医療に貢献できることを目標としています。今後人員の充実と体制の強化をはかり、三六五日二四時間の救急専門医の診療体制が築ける様に努力してまいります。



退任医師ご紹介

2月28日付
精神神経科 佐々木 竜二



3月31日付
内科 合田 智宏



- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| ●精神神経科 | 佐々木 竜二 | ●眼科 | 董 震宇 |
| ●内科 | 合田 智宏 | ●耳鼻咽喉科 | 相澤 寛志 |
| ●小児科 | 近藤 謙次 | ●麻酔科 | 堀口 貴行 |
| ●小児科 | 今井 敦 | ●麻酔科 | 徳山 英雄 |
| ●整形外科 | 竹内 宏仁 | ●整形外科 | 須貝 明日香 |
| ●整形外科 | 工藤 未来 | ●整形外科 | 木下 賢治 |
| ●整形外科 | 柏 隆史 | ●整形外科 | 菊池 創 |
| ●形成外科 | 今井 章仁 | ●形成外科 | 赤澤 直也 |
| ●形成外科 | 馬場 俊雄 | ●形成外科 | 石黒 友唯 |
| ●皮膚科 | 澤田 詩織 | ●皮膚科 | 白山 理恵 |
| ●泌尿器科 | 武藤 雅俊 | ●泌尿器科 | 松本 容子 |
| ●泌尿器科 | 前鼻 健志 | ●泌尿器科 | 玉城 敬史 |
| ●泌尿器科 | 水野 孝祐 | ●泌尿器科 | 山本 真崇 |

シリーズ 院内エキスパート⑥ 認定士

輸血認定検査技師

輸血は様々な副作用・合併症を伴いやすく、輸血医療を行うには深い知識、的確な判断力と技術が要求されます。

認定輸血検査技師とは、輸血医療の専門的な知識と輸血検査の正確な技術を持つと認められた臨床検査技師です。

主な役割は、輸血医療の安全性向上に寄与し、血液製剤の適正使用に努めることです。

皆さんに、より安全で適正な輸血医療を受けていただくために、今後も知識・技術の向上に努めていきたいと思えます。



輸血認定検査技師 ゆうや 谷越 悠耶
たにこし ゆうや

診療情報管理士

平成一四年に診療情報管理士の資格を、また平成一九年には院内がん登録実務者研修(初級)を修了し現在診療情報室に勤務しております。

診療情報管理士の業務は、診療記録や診療情報を適切に管理すること。そしてこれらに含まれるデータを加工し活用することによって医療の質の向上に貢献していく専門職といわれています。

診療情報室は診療情報を各部門にフィードバックすることにより、患者と情報を共有し医療の質の向上につながるよう日々業務を行っておりますので今後ともよろしくお願いいたします。



診療情報管理士 たかゆき 小柳 貴敬
こやなぎ たかゆき

ヒューマンスクランブル

新人看護師 松本 佳央梨
憧れの看護師となり、四月から当院で勤務させていただきました。現在は研修生として、いろいろな病棟で看護技術・知識を学び、緊張の連続ですが、充実した日々を送っています。なかなか上手くいかず、不安や自分の未熟さを感じることもありますが、患者様の温かい言葉や先輩の方々に支えられ頑張っています。

患者様一人一人により良い看護、また心もこもった看護を提供できるよう一生懸命頑張っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



新人看護師 工藤 勇人
今回、四月から砂川市立病院の九病棟に勤務することになりました工藤勇人です。私は、学生の頃から患者様の気持ちに共感し、思いを尊重する看護を行っていたと思っています。患者様中心の看護を行うことができるとは、病棟は砂川市立病院にはたくさんあると思います。その中でも自分の関わりや看護ケア一つに対して、良い悪いを素直に患者様が伝えて下さるのが精神科病棟で、その環境で自分をより磨いて行きたいと思いい精神科を希望しました。まだまだ看護師として知識も技術も未熟ではありますが、患者様の事を一番に考えるということから忘れずに、患者様により良いケアができるように頑張っていきますので、どうぞ宜しくお願い致します。



医療技術員 及川 のみ
四月から当院の臨床検査技師として勤務しています。現在は各部門の仕事をトレーニングしているところです。二日も早く当直できるよう頑張っています。

まだまだ未熟ですが、信頼される検査技師になりたいと思います。また、将来輸血認定も取得したいと考えています。

先輩技師に早く追いつく様頑張りますのでよろしくお願致します。

